

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA



ゴール2「飢餓をゼロに」

「飢餓」とは、十分な食べ物を得られず栄養不足になり、健康を保つことができない状態のことを言い、世界では途上国を中心に約8億人が飢えに苦しんでいます。特に子どもの飢餓は深刻で、年間約310万人もの5歳未満の子どもたちが、栄養不足により命を落としていくと推計されています。飢餓により、子どもたちの成長が遅れたり、命が奪われたりすることは、その国の発展にも影響を及ぼしかねません。飢餓の問題は、健康や生命だけでなく、経済成長や教育など、様々なSDGsのゴールと深い関連性があるのです。

蒔田町の取り組みは？

食を想う気持ちを育む 給食センターの食育だより

蒔田町立学校給食センターでは、小中学生と保護者向けに食の大切さや食べ物に対する感謝の心などを伝えるために、「食育だより」を毎月発行しています。未来を担う子どもたちが、食に関する正しい知識を身に付け、食への感謝の気持ちを持ち続けることは、世界中で飢餓に苦しむ人々を救う力になります。これからも1人でも多くの人に食の大切さ、ありがたみを感じてもらえるように「食育だより」の発行を続けていきます。



食育だより9月号

わたしたちにできることは？

食べものを大切に 食品ロスを減らしましょう

日本では年間約600万トンもの食品ロスが発生しています。これは国民1人当たりで換算するとおにぎりを毎日1～2個捨てていることになります。これらの廃棄されている食糧が飢えに苦しむ人たちのもとに届いていればと考えると、私たち一人一人が食品ロスを減らすために取るべき行動を改めて見直す必要があると感じさせられるのではないのでしょうか。目の前の小さなことから意識して行動・選択を変えてみましょう。

具体的な取り組み

- 買い物をする前に必要なものを確認し、無駄な買い物を減らす
- 野菜は冷凍・乾燥などで下処理する
- 残っている食材から使う
- すぐ食べるものは賞味期限の近いものを選ぶ

SDGsの取り組み募集

あなたのSDGsの取り組みを広報紙や蒔田町ホームページで紹介させてください！

- 募集内容：SDGs目標達成のための取り組み
 - 対象：町内の企業、団体、個人などどなたでも
 - 申込方法：蒔田町HP内「SDGs専用ページ」から様式をダウンロードして、郵送またはメールで申し込み
- URL : https://www.town.kanda.lg.jp/_1032/_7150.html メール : kikakuseisakuka@town.kanda.lg.jp
 郵送先 : 〒800-0392 蒔田町富久町1-19-1 蒔田町役場 企画政策課 企画担当 (☎093・588・1006)

※掲載号などの調整のため、後日、申請者の方にご連絡します。簡単な取材(写真撮影含む)にご対応いただく場合があります。